

「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る 第3回 第三中学校区地域意見交換会



と き：平成27年10月29日
ところ：第三中学校体育館

第三中学校区での主な意見を紹介します。

学区外就学が認められることは保護者の立場としては有難いのですが、学区外就学を許可すると学級編制に偏りが出ないか不安です。



小中一貫教育システムの導入について、石川や船沢地区と新聞報道されていましたが、いつから実施するのですか。



弘前市は学区制なので、基本的に指定校入学となり、特別な場合のみ学区外就学を認めています。学区外申請も含め、最終的に就学した学校の人数を基準に学級編制をしています。



1つの中学校区に1つの小学校、1つの中学校区に複数の小学校があるパターンに分け、現時点では、4中学校区をこれから調査研究校として選定し、28年度から実施したいと考えています。



特別な支援を要する子どもの人数が増えています。小・中学校に特別支援学校の免許を持っている教員を増やしてほしいです。



市教委では特別支援教育支援員を配置し、県教委にも教員の増員について働きかけをしています。特別支援の免許がない教員には研修・指導も行い資質向上を図っています。今後もこれらの取組を継続していきたいと考えています。



細長いエリアの品川町は第三大成小と大成小の学区に分断されていますが、細長く並行する松森町が全て第三大成小学区なのはなぜですか。



第三大成小学校を新設した時に、各町会ごとに意見を聞きながら学区を定めた経緯があります。今は状況も変わっているので、地域の意見を聞きながら必要に応じて学区の見直しを検討していきます。

